

史料名	戦乱ポンチ (風俗画報 第四百六十二号 欧州戦乱号)				
請求番号	P109	文書番号	178-376	年代 (作成年)	1914年 (大正3年) 10月5日発行
文書群名 (作成部名)	大島登輝夫氏収集文書			資料形態	絵図
学習指導要領との関連 (参考)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学社会〔歴史的分野〕C- (1) -ア- (オ) 第一次世界大戦の背景とその影響などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解すること。 ・ 高校・歴史総合C- (2) -イ- (ア) 第一次世界大戦の推移と日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域との動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。 				
資料の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1次世界大戦初期 (1914年) の国際関係を風刺したポンチ絵。 ・ 主に三国協商のイギリス、フランス、ロシア及びこれに味方した日本、並びに敵対した三国同盟のドイツ (皇帝ウィルヘルム2世) が描かれている。 ・ 「ニヶ国 (イギリス・フランス) は強さを露西亜 (ロシア) に花もたせ」、「ベルリンを打ち鳴らすのは露西亜の腕」など、作者は約3年後にはロシア革命により戦線を離脱するロシアに期待を寄せていることがうかがえる。 ・ 1917年に三国協商側に立って参戦したアメリカは描かれていない。 ・ 当時の新兵器である飛行機を日本が膠州湾 (ドイツの植民地・現在の山東省) 攻撃で使用したことが推測される。 				

